

第3回教育協カウィークの開催について

1. 背景

COVID-19の感染拡大から3年が経過しました。この間、多くの子どもや若者の学習機会が失われ、2030年までに「質の高い教育をみんなに」¹という持続可能な開発目標（SDGs）のゴール4の達成に向けて、大きな危機に直面しています。これまで以上に教育協カに携わる実務者・研究者が力を合わせ、より質の高い協カを展開していくことが求められています。

こうした危機感のもと、開発コンサルタント、NGO/NPO、研究者/大学教員、JICA、民間企業等の有志が組織を超えて連携し、より質の高い教育協カに向けて率直な意見交換を行うことを目的に、2021年に「教育協カウィーク」を初めて開催しました。第2回となる2022年は、延べ3,500名超が参加登録するなど大きな反響を呼び、各セッションで熱い議論が展開されました。また、教育協カの実務者が集まり、より良い教育協カの実現に向けた課題解決策を自由に議論し、共創と革新を生み出す「場」として「教育協カプラットフォーム」を形成することも合意されました。

そこで、2030年までのSDGs達成に向けて、未来に繋がる成果を生み出していくことを念頭に、今年9月7～9日に「第3回 教育協カウィーク」を開催します。

2. イベント概要

(1) イベントコンセプト：

「教育協カプラットフォームを通じて、2030年までのSDGs達成への貢献とともに教育協カの未来に繋がる成果を生み出していく」

(2) 第3回教育協カウィークテーマ：「未来を拓く教育協カ」

(3) 今年の開催の狙い：

2023年は6月に開発協カ大綱が改定されたほか、日本の教育協カ政策が改訂される予定である。加えて、5月にG7広島サミットが開催されたなど、日本の教育協カにおいて、重要な一年となっています。

途上国の子ども・若者たちの未来を切り開く教育協カに関わる実務者が一堂に会し、2030年までのSDGs達成に向けて、教育協カの拡充などを含めた未来に繋がる成果を生み出していくことを念頭に、教育協カが現在直面する

¹ すべての人に包摂的かつ公正で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

様々な課題や新たな展開について議論します。あわせて、昨年立ち上がった「教育協力プラットフォーム」の具体化を進めていきます。

(4) 日程 :

2023年9月7日(木)～9日(土)

※2023年9月8日は国際識字デー、9月9日は教育を攻撃から守るための国際デーとなっております。

(5) 実施形態 :

対面、オンラインもしくはハイブリッド型で実施します。

オンラインは原則としてTeamsを使用します(必要な機能に応じて一部Zoomを利用する場合があります)

(6) 実施体制 :

全体運営については、開発コンサルタント、教育協力NGOネットワーク(JNNE)、JICAの有志による実行委員会(事務局)を作り、同事務局メンバーが主体となって全体の企画運営を進めています。

3. 参加方法

以下のオンライン参加登録フォーム、もしくは二次元バーコードからお申込みください。



<https://forms.office.com/r/PFHhbxN1g>

締切：9月4日(月) 日本時間 23:59 締切

以上

別紙：第3回教育協力ウィーク タイムテーブル・登壇者一覧